

平成 20 年度 第 2 回外部評価報告書

鳥取県立日野高等学校
 学校長 杉山 潔

評 価 日	平成 20 年 1 2 月 9 日(火)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について（中間評価）</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>(ア) 「授業改善と個に応じた学力の向上」について 授業参観に参加したが大変に良かった。一般常識テストも実施内容の改善や動機づけが工夫されて一定の成果が上がっているの、達成状況に「やる気を喚起できた」を入れてはどうか。</p> <p>(イ) 「基本的な生活習慣と規範意識の高揚」について SHR の時間延長や正副担任 2 人での対応はとても良いと思う。また、駅舎指導・街頭指導などきめ細かな指導がされている。そのためか町内で喫煙の話を聞かなくなった。</p> <p>(ウ) 「生徒個々に応じた進路指導の充実」について 1 年生の「産業社会と人間」や 2 年生の「職場体験学習」の取り組みは一定の成果が上がっているように思う。それは、年ごとに改善がなされた結果だと思う。今年度の場合は、特に 3 年生の「課題研究」にその成果があったのが窺える。</p> <p>(エ) 「地域との連携」について 交流活動は、地域の学校としてすでに定着しており、いろいろな所で活動の状況を耳にしている。今後とも継続して取り組んで欲しい。</p>	<p>中間評価に対する評価及び提言を受けて最終評価と学校の所見・改善等</p> <p>重点目標の達成状況について 「授業改善と個に応じた学力の向上」について 一般常識テストは一定の成果があったが学年によって意欲に差が見られるので、事前・事後の指導を工夫する。家庭学習の時間を増やす方策も検討する。また、授業参観や授業評価アンケートを継続して行いより一層の授業改善に努める。</p> <p>「基本的な生活習慣と規範意識の高揚」について SHR の時間延長や正副担任 2 人での対応、週一回の学年団の情報交換は、生徒理解に効果があった。街頭・駅舎・校内における巡視を徹底し問題行動が激減した。先進校で視察した「改善指導カード」を生徒や保護者への理解を得て導入する。</p> <p>「生徒個々に応じた進路指導の充実」について 1 年生の「産業社会と人間」、2 年生の「職場体験学習」、3 年生の「課題研究」は、進路意識を高揚させるのに効果があった。また、3 年生の面接指導は、複数の教職員で関わる事によって多面的な指導ができた。一方、個別指導が困難な事例を今後の指導に生かすためにより情報交換を密にする必要がある。</p> <p>「地域との連携」について 各種の交流活動やボランティア活動は、生徒のコミュニケーション能力の向上に効果があった。一方、日野高校の良い取り組みがまだ十分に認識されていないので、もっと情報発信に努める。</p>	

(2)説明・公表について

学校報告会や「学校だより」・ホームページ等を通じて、学校評価を含め様々な取り組みや活動が公表されており学校の様子が良くわかる。

2. 学校運営への提言・意見

学校運営の改善として、県外先進校視察などの取り組みを日野高校にあった形で生かしてほしい。学校自己評価や学校評価アンケートなどからみると、「根気強く、やる気を育てる」ことが課題であると思う。課題を克服するための取り組みを検討してほしい。また、交流活動も継続して取り組んでほしい。大変だと思うが地域からの期待に応える意味でも頑張ってもらいたい。

説明・公表について

学校報告会や広報誌「日野川」、ホームページ、パネル展示等を通じて学校の取り組みを紹介しているが、より一層の情報発信に努める。

学校運営への提言・意見について

県外先進校視察によれば、学校改革を学習指導と生活指導の両面から実施している学校が多く、本校に於いても「基礎学力の充実の方策」と「基本的な生活習慣の確立」について、具体策を検討する。
また、より一層情報発信に努め日野高校に対する理解を得る。